

九州支社に国内 5 拠点目となる 再生可能エネルギー100%※1の電気を導入 一年間のトータル削減量は約 800t-CO2 に一

ものづくり商社のリーディングカンパニーである株式会社山善（本社：大阪市西区、代表取締役社長：岸田貢司 以下、当社）は、2025 年 4 月 1 日より、当社の九州支社の購入電力を再生可能エネルギー100%※1の電気（以下、再エネ電気）に切り替えます。再エネ電気は、2021 年 10 月に基本業務提携契約を締結した、大阪ガス株式会社（以下、大阪ガス）100%子会社の Daigas エナジー株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：福谷博善 以下、Daigas エナジー）を代理店とし、大阪ガスの「D-Green RE100」※2を通じて調達いたします。



山善 九州支社 外観

当社は、2022 年度に TCFD へ賛同し、2050 年度には実質カーボンニュートラルを目指して脱炭素への取り組みを進めています。その一環として、当社の Scope2（エネルギー間接排出）における CO2 排出量削減のため、順次、国内の主要拠点の電力を再エネ電気「D-Green RE100」に切り替えています。今回、九州支社に再エネ電気を導入することにより、年間約 84t-CO2 を削減します。他の拠点との合計削減量は、年間で約 800t-CO2 を見込んでおり、一般家庭約 310 世帯分※3の年間 CO2 排出量に相当します。

再エネ電気導入日	導入拠点	CO2 削減量
2022 年 7 月 1 日	大阪本社	約 428t-CO2
2022 年 11 月 4 日	ロジス大東※4	約 167t-CO2
2023 年 8 月 19 日	仙台支店	約 40t-CO2
2024 年 4 月 8 日	名古屋支社	約 81t-CO2
2025 年 4 月 1 日	九州支社	約 84t-CO2

今後も当社は、自社所有となる主要拠点（広島など）の再エネ電気への切り替えを順次進めていくとともに、従来から取り組むコーポレート PPA 事業※5等の「グリーンビジネス」を推進することで、サプライチェーン全体の CO2 削減に寄与してまいります。そして、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かなくらしをリードしてまいります。

※1:火力や原子力等を含まない再生可能エネルギーにて発電された電気に、非化石証書（再エネ指定）を付加したものです。

※2:FIT 制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）を利用した電源を含む再エネ電源の非化石証書が、再エネ電気とともに供給される電気料金メニューです。「D-Green RE100」は、「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たしています。

※3: 1 世帯当たり年間 2.59t-CO₂ で試算しています。

[出典]環境省「令和 4 年度家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査資料編（確報値）」より

※4:2024 年 10 月に「ロジス大阪」から「ロジス大東」に改称しています。

※5:コーポレート PPA とは、「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略で、発電事業者が自らの負担により太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電気を顧客に販売するモデルのことです。コーポレート PPA モデルを採用することで、顧客は設備における初期投資や設備の維持・管理の負担がないというメリットがあります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。
閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 米田
電話 06-6534-3095
E-mail : info07@yamazen.co.jp